

2017年度 3学年東大・京大志望者集会（第1回）

5月18日（木）、3年生、教員合わせて28名が出席し、「3学年東大・京大志望者集会（第1回）」を放課後、視聴覚教室で開催しました。約1時間、入試や学習方法、心構え等について、教頭、進路指導部や教科、3年学年主任から説明がありました。生徒は真剣に耳を傾け、志望に向けて決意を新たにしました。

【集会の内容】

- ① 教頭より
- ① 東大・京大の入試の基本
- ② 今春の入試を振り返って
- ③ 各教科（国語、数学、英語、理科、社会）からの具体的なアドバイス
 - ・学習のポイント
 - ・補習・個別添削指導等
- ④ 学年主任より

【集会の様子】



【教頭先生より】

(プロテニスプレイヤーの錦織圭選手の例から) 自分の力を最大限に伸ばすには、それが可能な環境に身を置くこと。東大、京大で学ぶことで自分の能力を最大限に伸ばす努力をしましょう。東大の合格者はもう1度入試をすると半分は入れ替わるくらい力の差は僅か。最後まで諦めずに取り組もう。

【各担当からの説明の中から】

- ・京大に合格した舟入の卒業生。基礎力を持っており、自分は京大に行くのだという強い意志があった。「強い意志」という部分では特別な生徒であった。塾に行かず、自分で勉強法を模索し自分のやり方を貫いた。
- ・国語：解答用紙のスペースからどれくらいの分量の記述が要求されているのかがわかる。
- ・過去問を解いて添削指導を受ける場合、まず丁寧に自己採点をすること。自分の答案を自分で添削する力が必要。(どの科目にも当てはまる。) 進路の資料室には赤本と青本が用意されている。両方の模範解答を読み比べよう。
- ・圧倒的な基礎力をつけよう。難問も楽しみながらじっくり取り組もう。
- ・理科：得点源になる。文型は授業で基礎固めを。予習・復習をすること。理型は「有機分野のできが鍵になる」東大の有機分野は難問。「理論分野」は確実に押さえたい。
- ・英語：速読を意識した学習をしよう。「音読による復習を反復的に行う」ことが有効。
- ・合格する答案を作成する。「非常に読みにくい字の答案」「読む側に苦痛を与える答案」は受験生の想定得点より受験後の開示得点が10%以上低い場合がある。
- ・舟入には一緒に闘う仲間と応援する先生たちがいる。

【その他】

- ・どの教科も添削指導の準備をして待っています。積極的に！ただし、まず自己添削を時間をかけてやってから持っていこう。校長先生は数学の先生です。添削指導をお願いしたい人は、校長室を訪ねてみよう。
- ・教科からより詳しいアドバイスの資料あり。参考にしよう。